

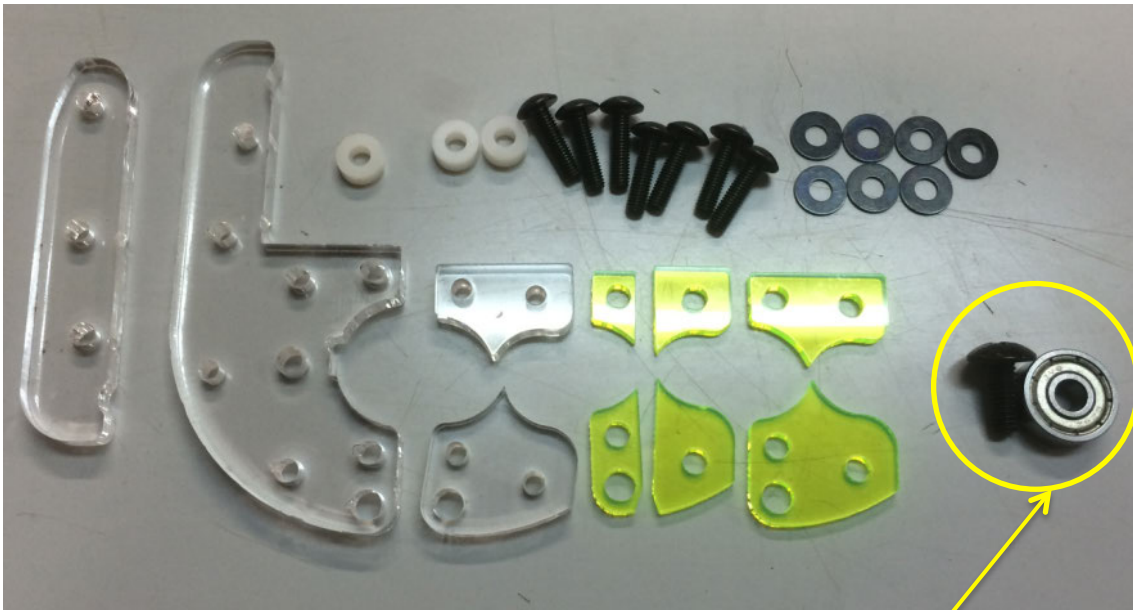
## BS01 フィーダー-G2 組立て手順書 Rev1.0β

既存のフィーダーをアップグレードするための手順書です。  
既存のフィーダーの部品を多数使用しますので、既存のフィーダーを分解して下さい。

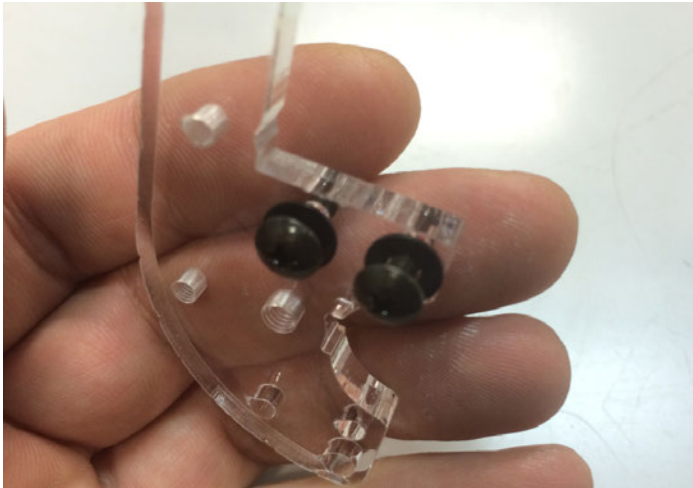
既存の亚克力部品は使用しません。

この手順書は 1st フィーダー用です。デュアルで 2nd フィーダーも組み立てる方はアクリルの裏表が全て逆になります。

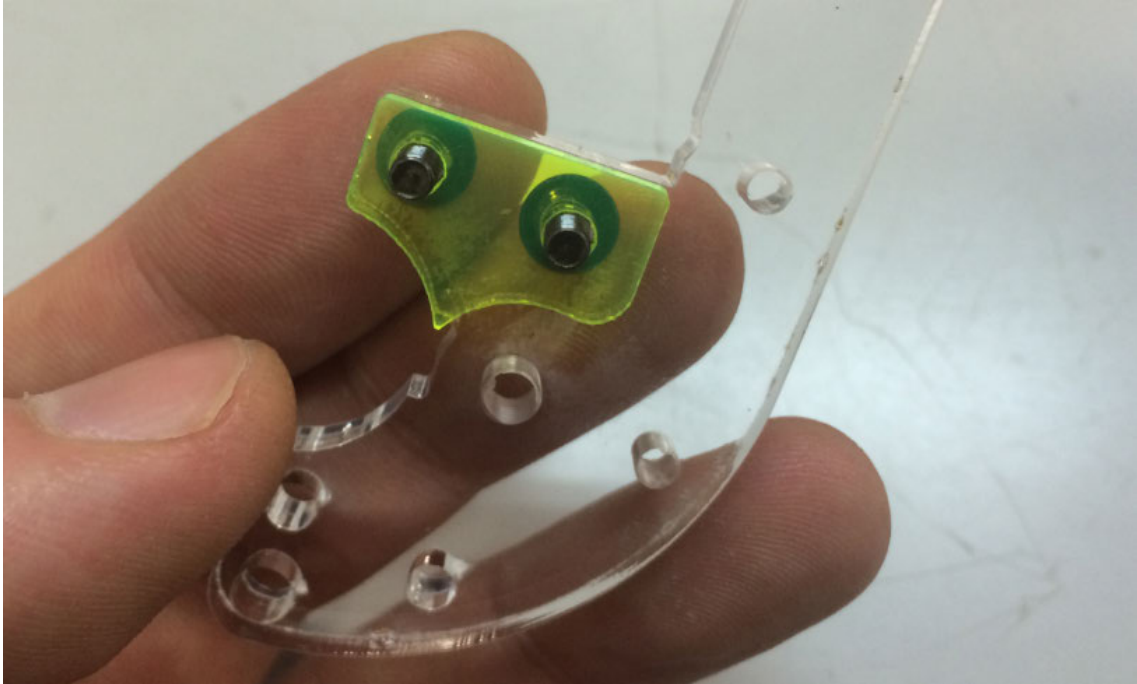
アームを組立てます。



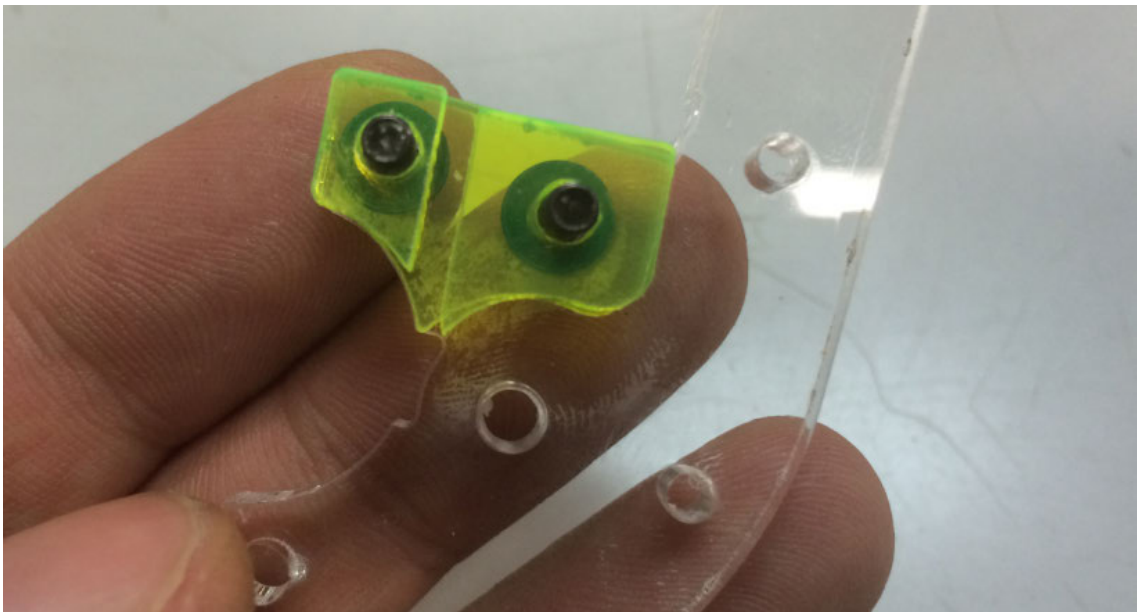
この部品を準備します。  
この写真のベアリングと M4-10 トラスねじは分解したフィーダーの部品を流用します。



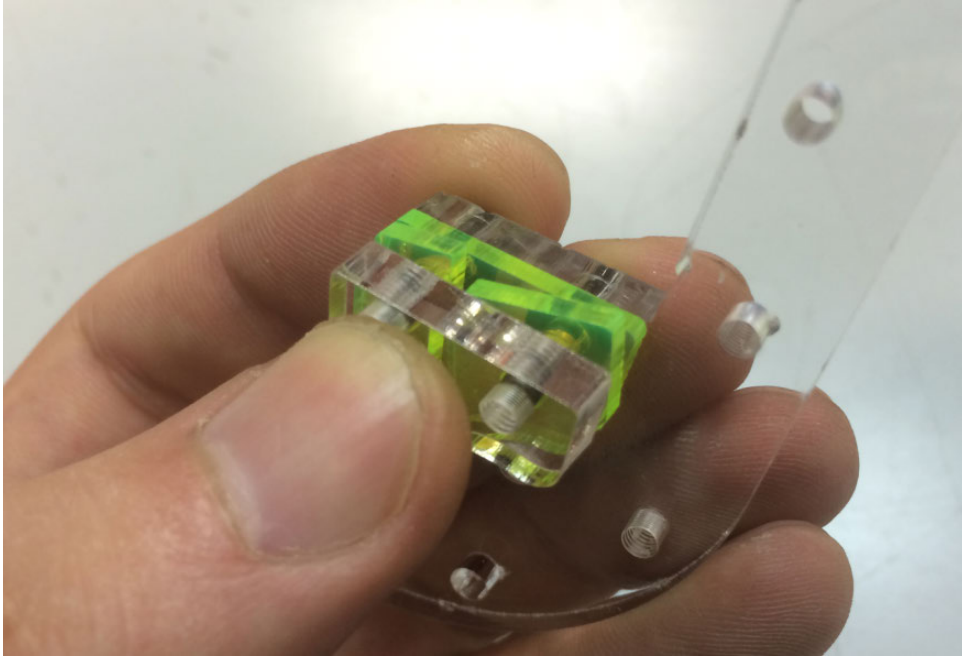
アームの一番大きな部品のこの向きで M3-12 トラスねじとワッシャを 2 本入れます。



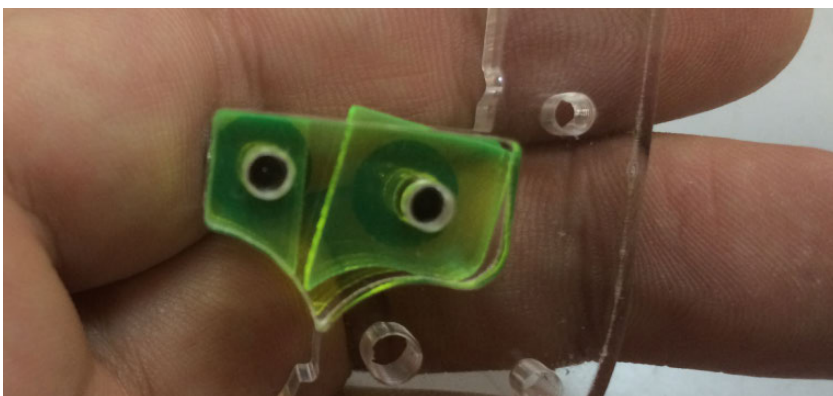
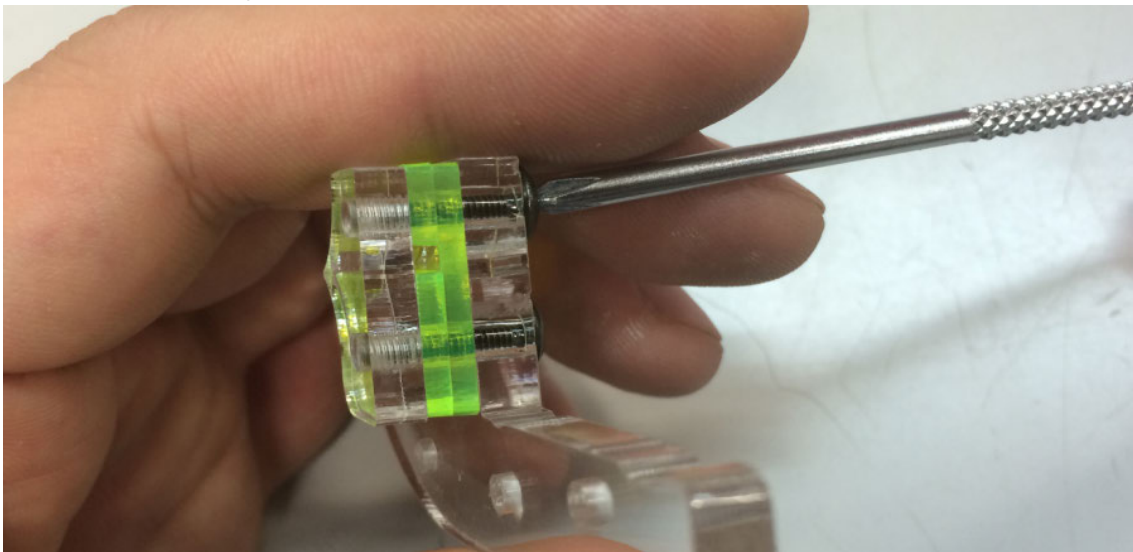
2mm のアクリルの部品をつけます。 向きに注意して下さい。



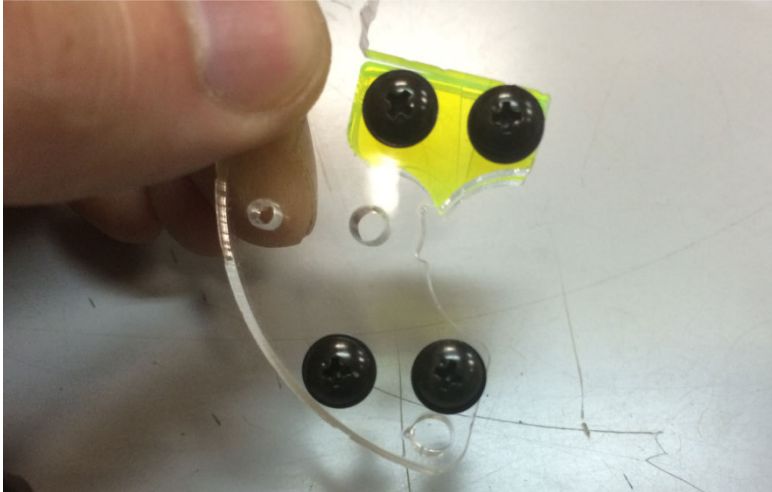
小さな 2mm のアクリル部品 2 つをつけます。 グラグラしますが気にしないで下さい。



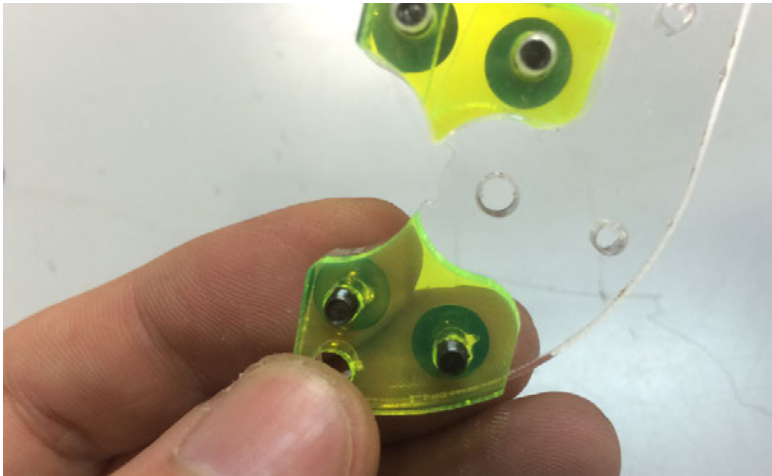
4mmの透明アクリルの部品をあてて、日本のトラスねじを回して仮止めします。  
※後で調整するので仮止めです。



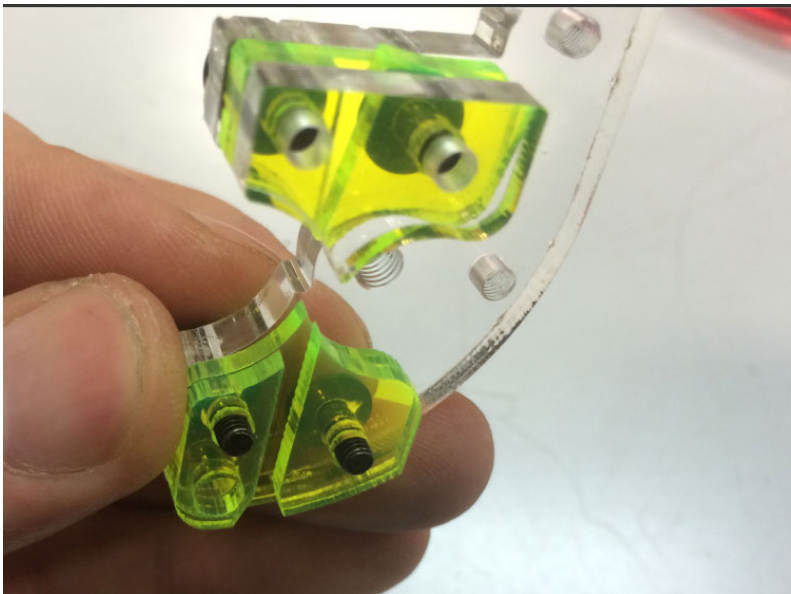
曲がっていても後で直すので大丈夫。



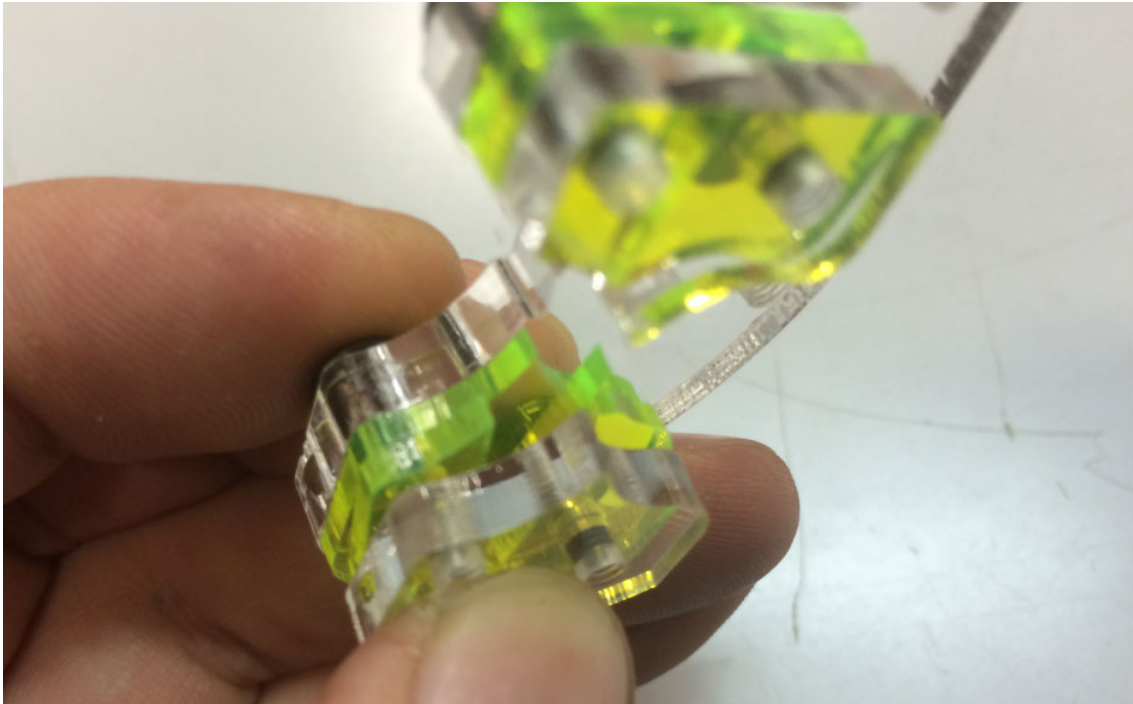
同じように下二箇所の穴に M3-12 トラスねじとワッシャを通します。  
※穴を間違えないようにして下さい。



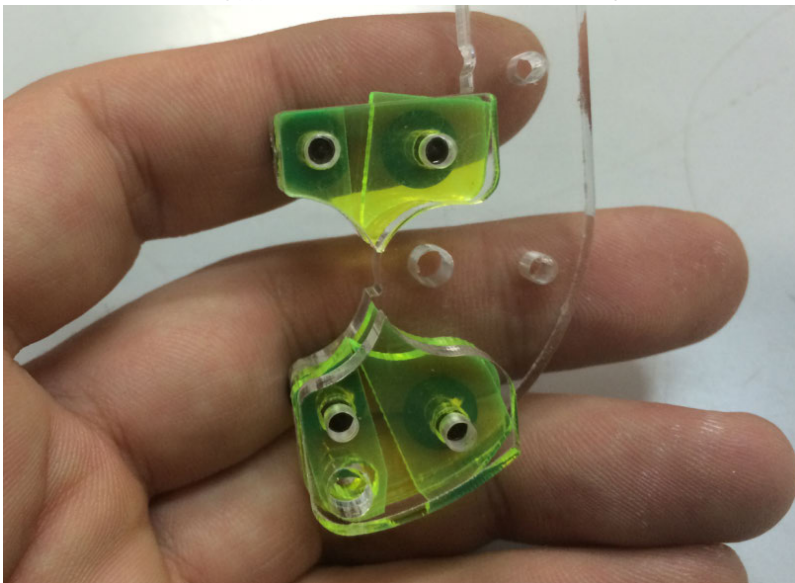
写真の部品をつけます。



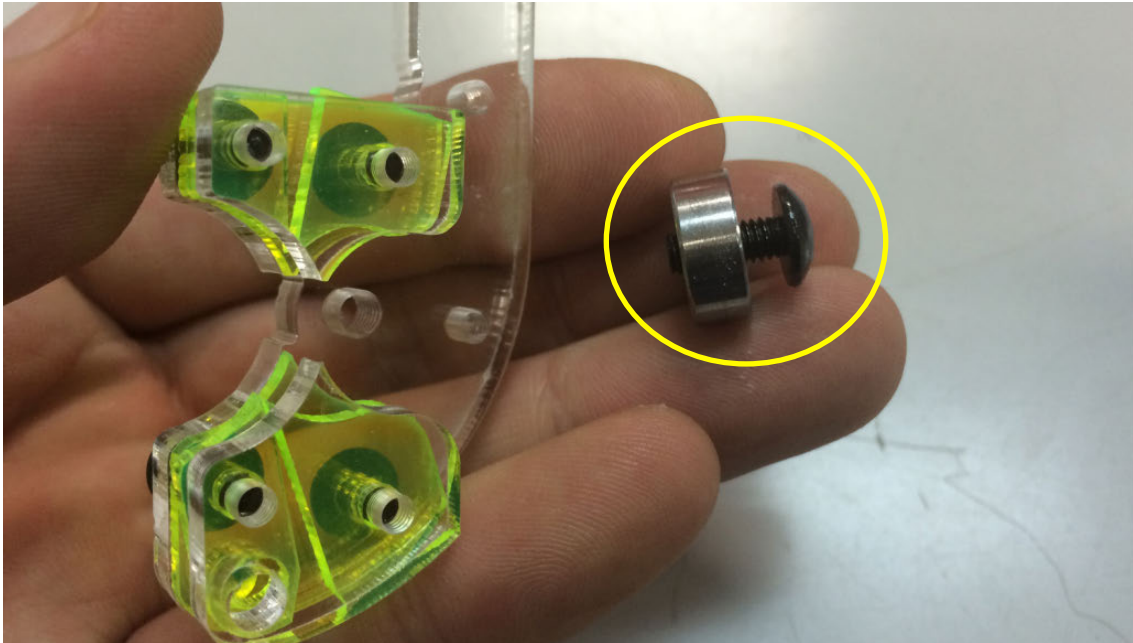
更に 2 つの小さな部品



4mm のアクリル部品を付けてねじを締めます。 仮止めです。



このようになりました。  
曲がっていますが、大丈夫です。



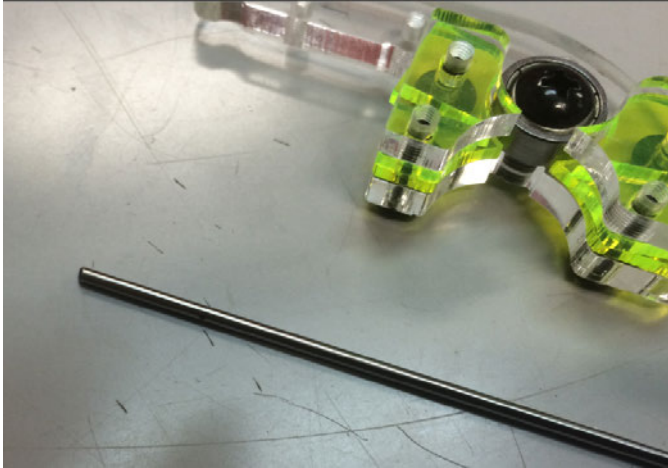
ベアリングと M4-10 トラスねじ



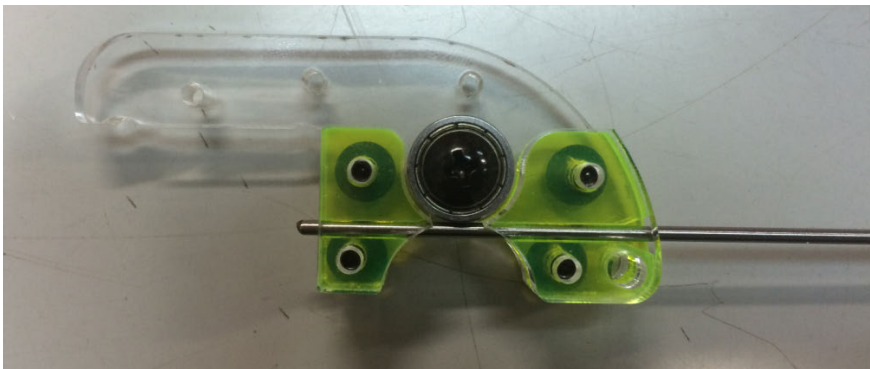
ベアリングを固定します。



指でベアリングが回るか確認して下さい。回らない時はベアリングの表裏を反転させて固定して下さい。



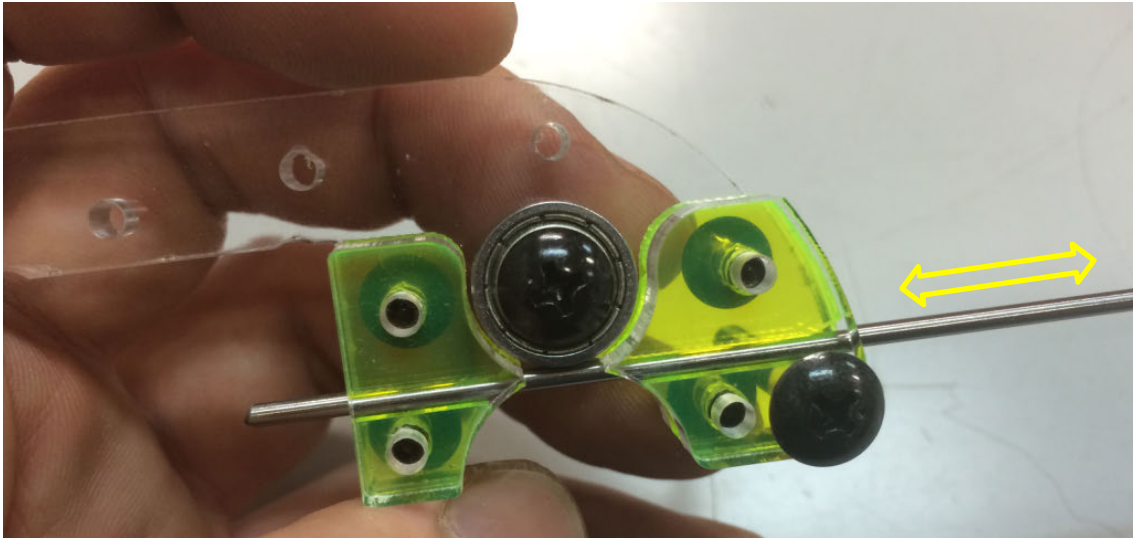
ノズルパーズキットの棒を準備して下さい。



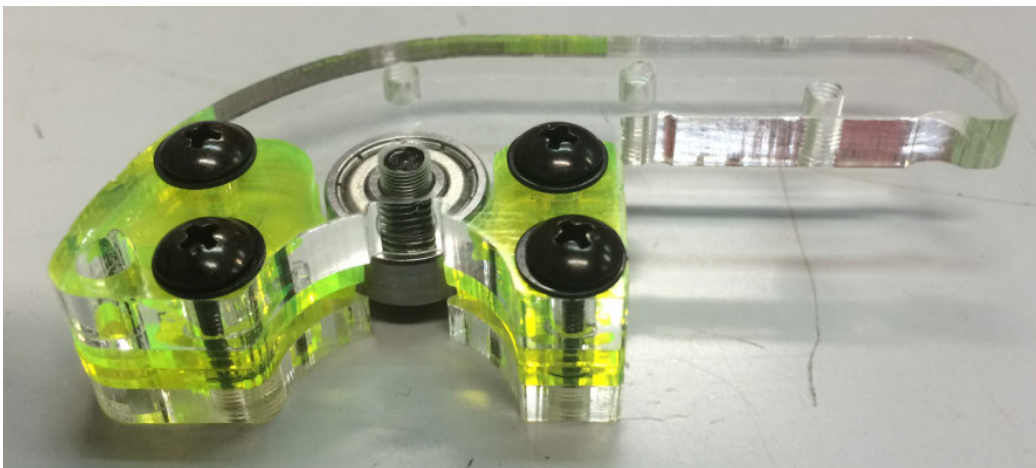
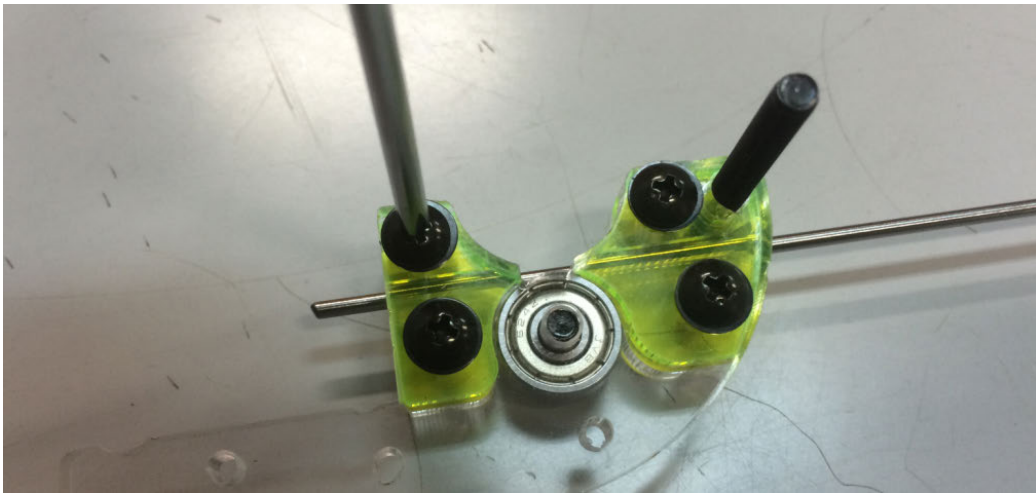
棒を先ほど重ねて仮止めしたパーツの中を写真のように通します。  
※造形時にこの棒の流路にフィラメントが通ります。



分解したフィーダーの M4-35 のトラスねじを図の穴に通します。  
通りにくい場合は M3-12 トラスねじを緩めて通して下さい。  
何度かズゴズコするとアクリルのバリもとれて通りやすくなります。



棒を動かしてガタがなく、ベアリングと棒が接触して少し回る位の位置で M3-12 トラスねじ 4 本を締めます。



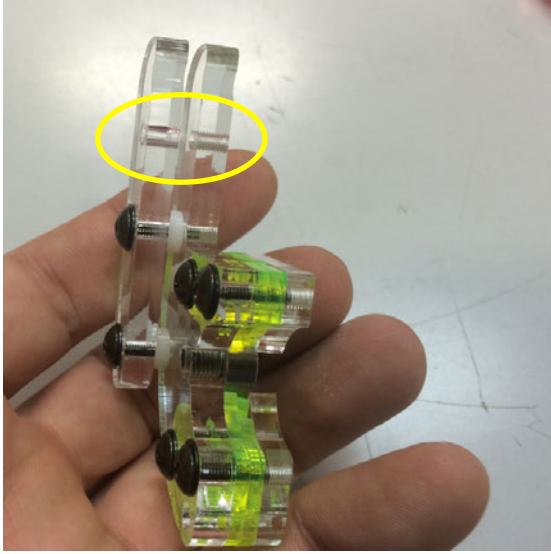




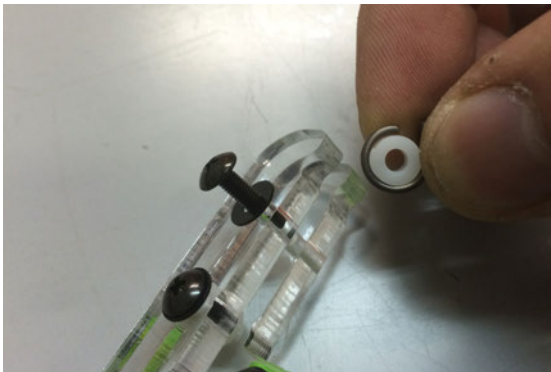
スペーサーを穴に合わせて2個置きます。  
※このスペーサーはアップグレードキットに同梱されている M3 厚さ 3mm のスペーサー  
です。



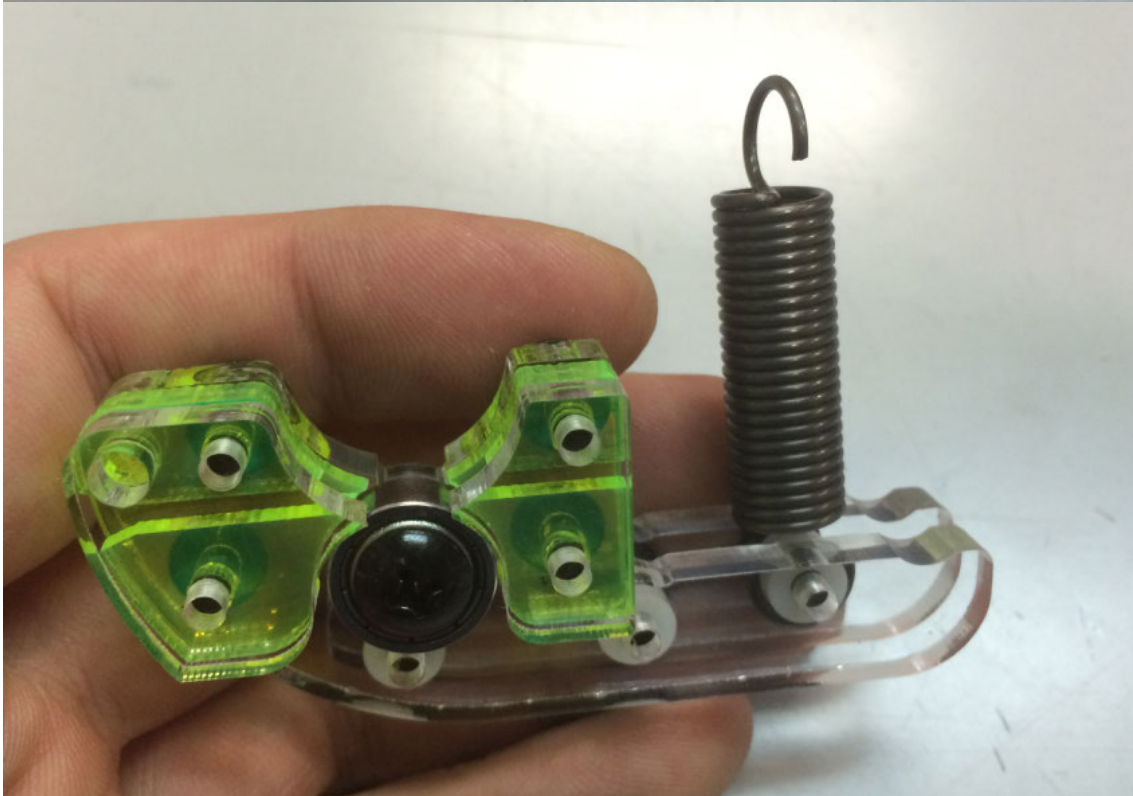
M3-12 トラスねじと平ワッシャーで締めます。



黄色丸の穴にスプリングをつけます。

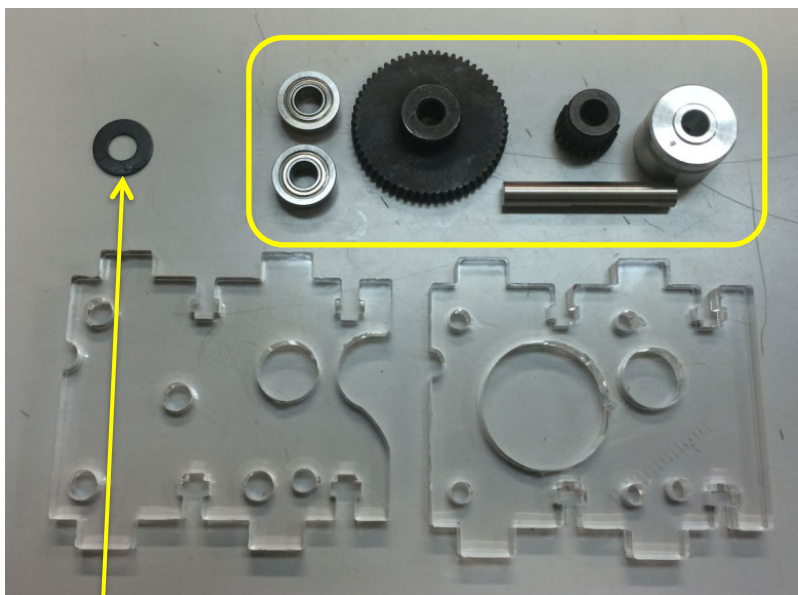


このようにバネの輪っかにスペーサーをセットして、アームの間に入れて M3-12 トラスねじとワッシャで締めます。

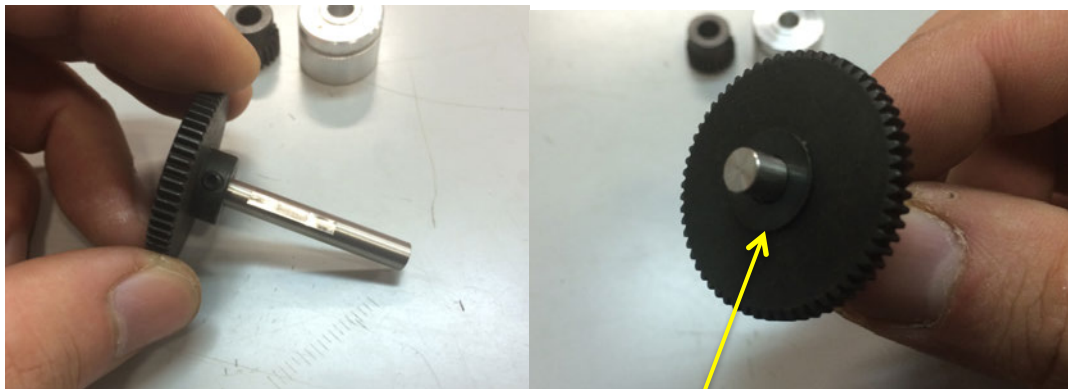


アームの部分が出来上がりました。

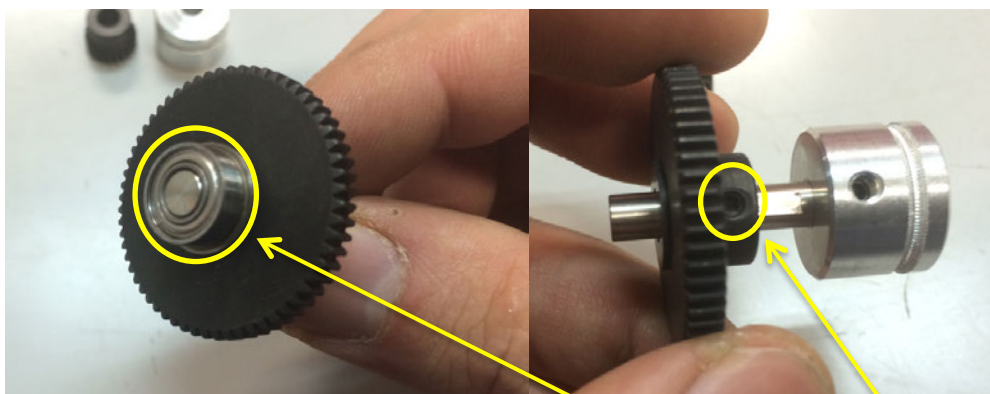
## ドライブ部の組立て



黄色の部品は既存のフィーダーの流用品です。  
ワッシャーは M5 の平ワッシャー



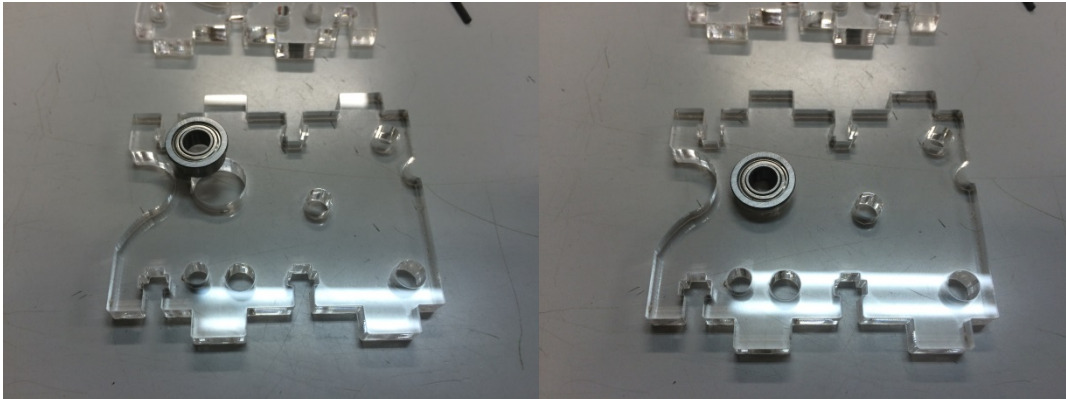
大きい方のギヤにドライブシャフトを通します。ワッシャーを通します。  
ギヤの方向に注意して下さい。



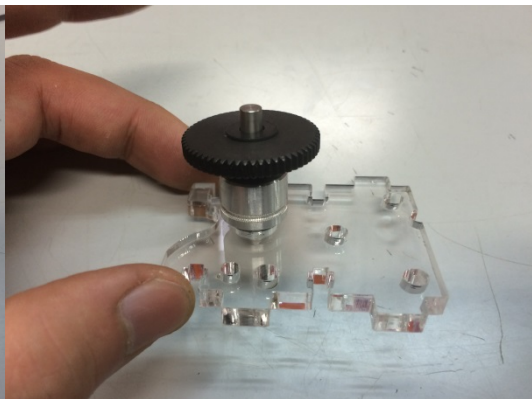
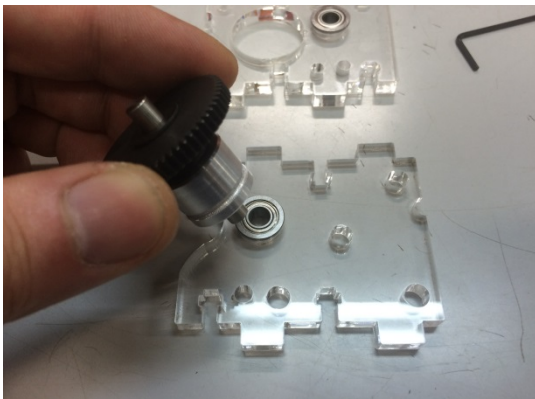
ベアリングを通して軸の端面とベアリングの端面を合わせてギヤのホーローセットを固定します。  
※ホーローセットはドライブシャフトの平らな部分で固定して下さい。



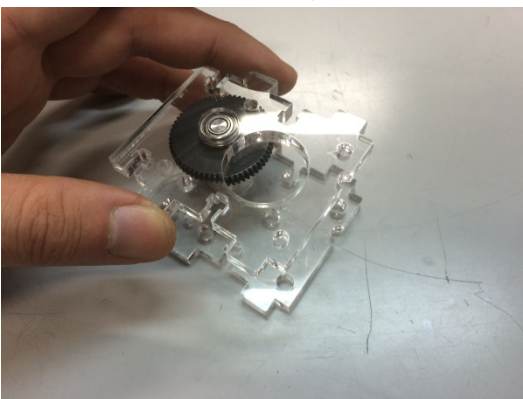
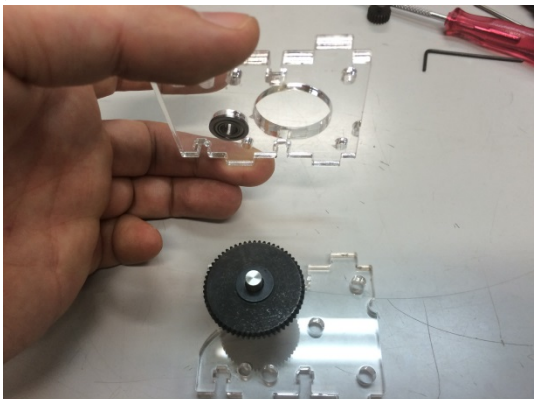
ドライブロールをギヤにピッタリ付けてホーローセットで固定します。



この形の亚克力パーツに写真の方向からベアリングを嵌めます。



先ほど組んだドライブシャフトをドライブロール側からベアリングに挿し込みます。



反対側の亚克力パーツにベアリングを嵌めてドライブシャフトに被せます。  
※ベアリングは内側です。



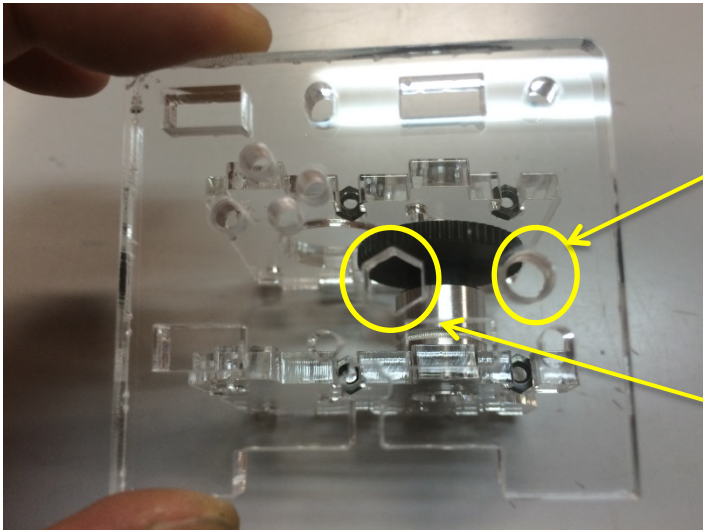
既存のフィーダーから外したネジパーツ  
M3-12 トラスねじ 8本  
M3 平ワッシャー 8個  
M3 ナット 8個



ナットを嵌めます。



このパーツを被せます。



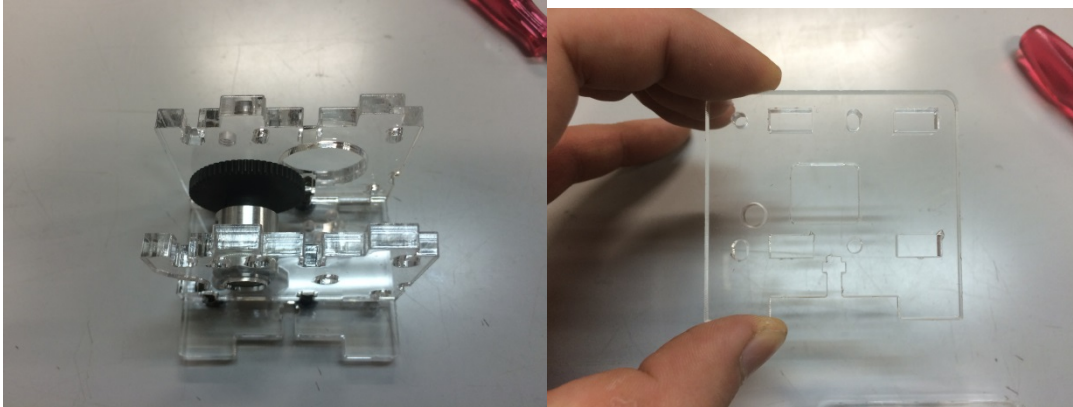
向きに注意して下さい。

出口チューブ継手 M6 穴

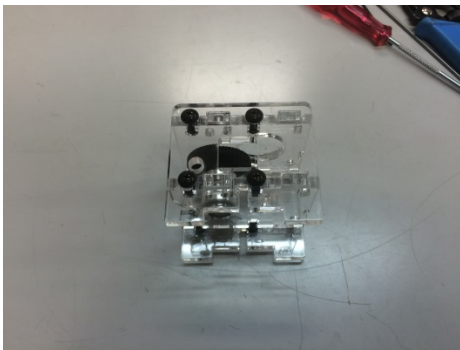
掃除ブラシ六角穴



M3-12 トラスねじ  
平ワッシャー  
で仮止めします。

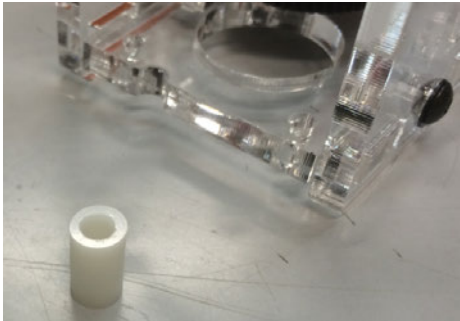


上下逆にします。  
ナットを4箇所嵌めて残りのアクリルパーツを取り付けます。

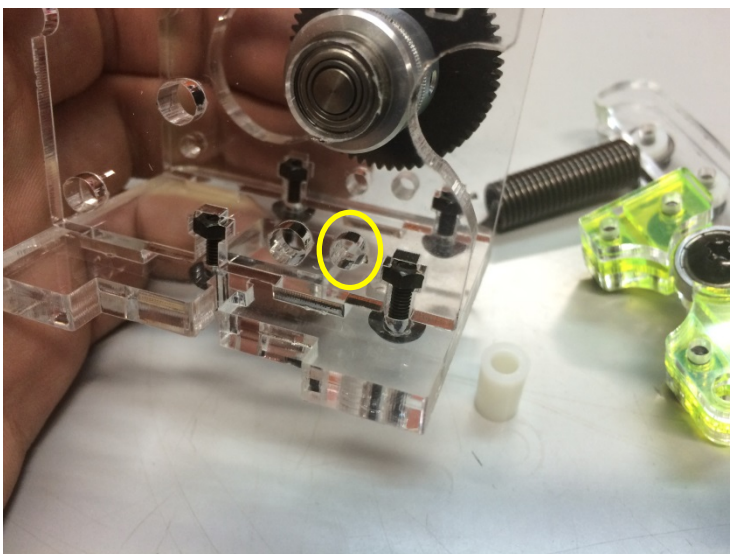


まだ仮止めです。

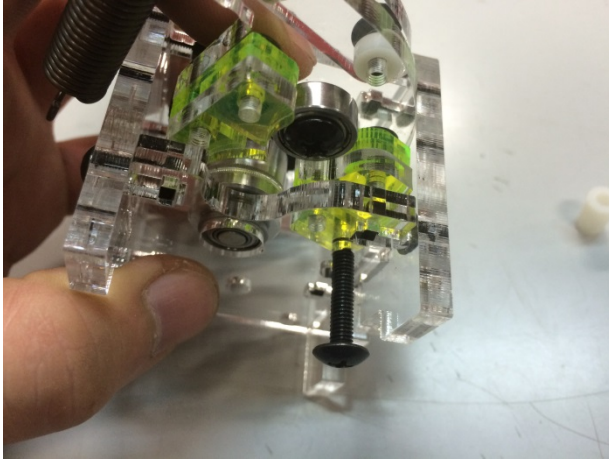
これから本体とアームを合体させます



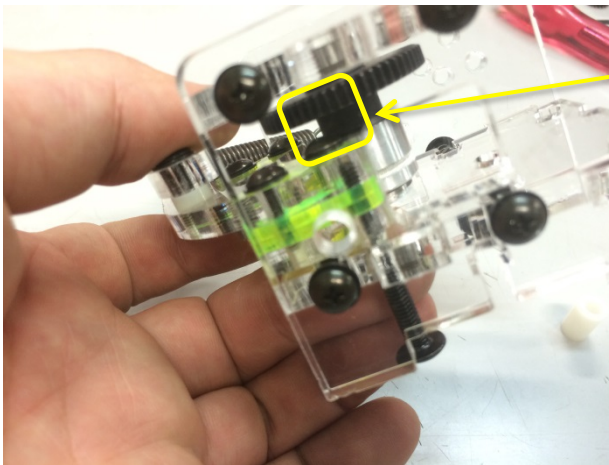
M4-12のスペーサー



手順としては黄色の穴から  
M4-35のトラスねじを入れて、  
アームを通して、M4-12  
スペーサーを通して、反  
対側のアクリルパーツのタ  
ップ穴にねじ込みます。

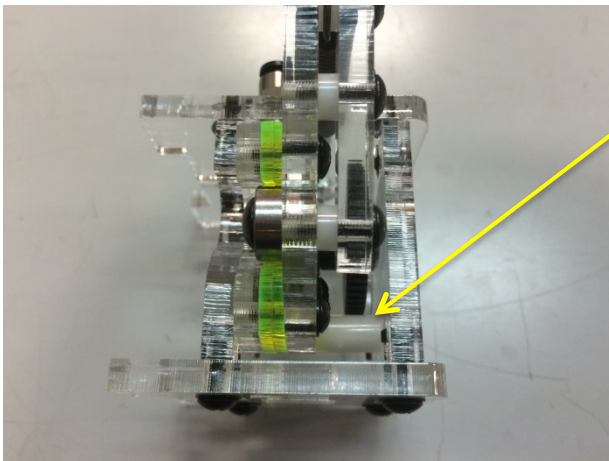


M4-35 トラスねじは既存フィーダーから取り外してものです。



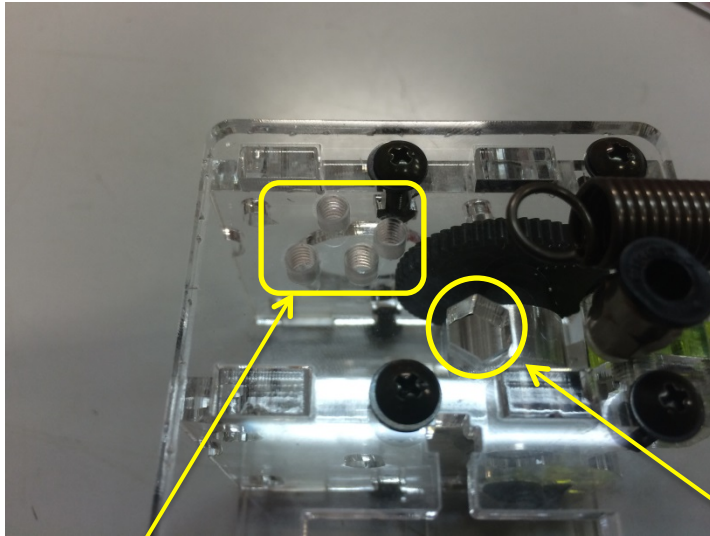
この部分に M4-12 スペーサーを入れてねじを通します。

※このスペーサーは指では入れにくい作業ですので、ラジオペンチ等を使用して下さい。



入れたスペーサー





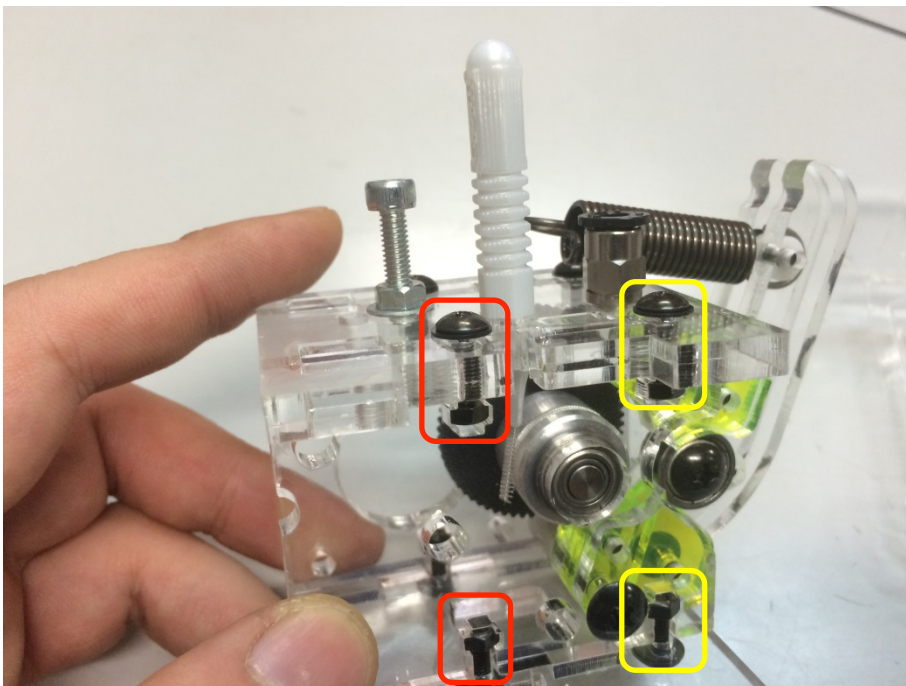
テンション調整穴

掃除ブラシ穴

バネの強さをテンション調整穴に取り付けるキャップボルトの位置によって調整できるようになっています。

掃除ブラシ穴に歯間ブラシを入れてドライブロールの溝を掃除しながら造形できるようになっています。

適用ブラシは GUM の歯間ブラシです。



チューブ継手・M4-20 キャップボルトを取り付けます。

黄色部分のねじはナットが内部でアームと接触しないように、アームを動かしながらナットの位置を調整してから締めて下さい。

赤色部分のねじはそのまま締めて下さい。

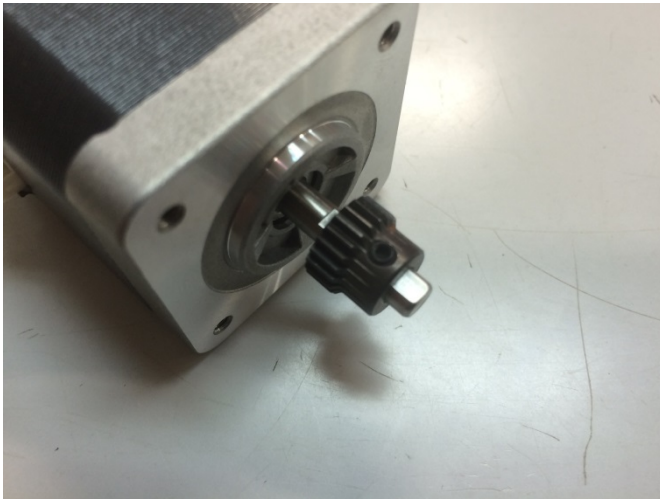
モーター取り付け側のねじは仮止めのままです。



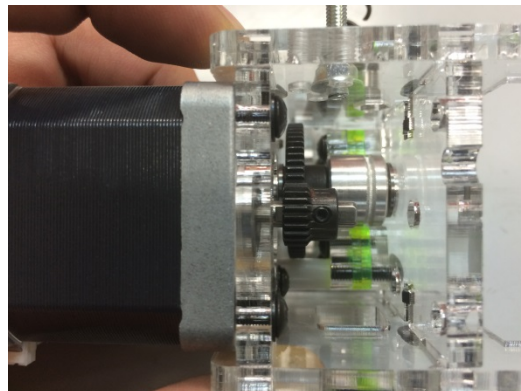
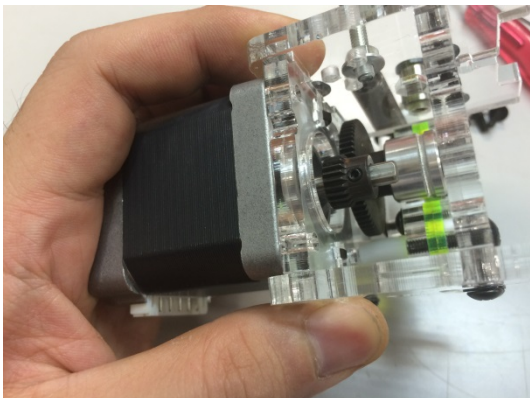
組み上がったフィーダーにモーターを取り付けします。

いずれの部品も既存フィーダーより外した部品です。

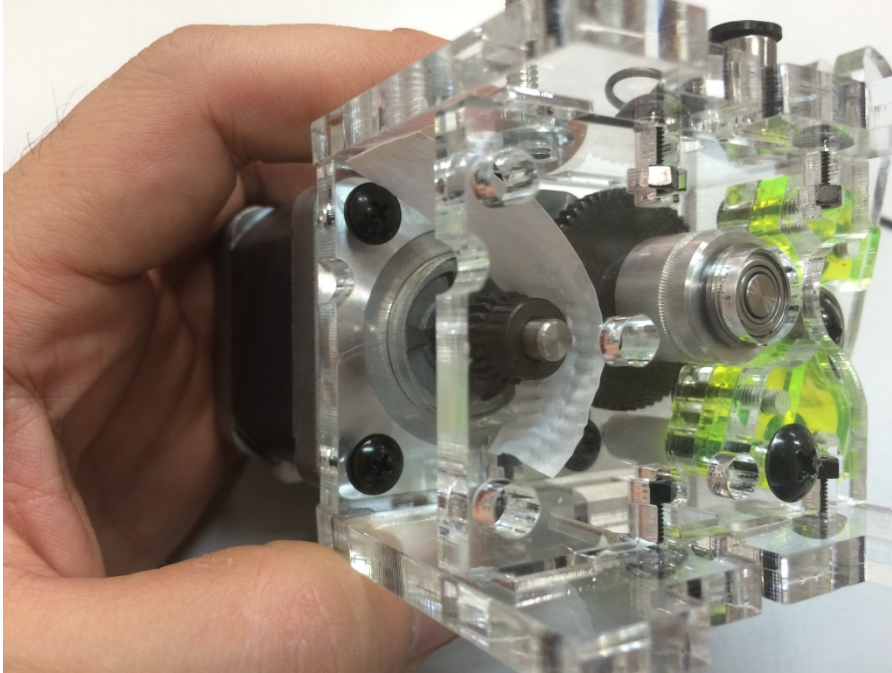
モーター  
ギヤ小(ホーローセット付)  
M3-10トラスねじ 3本  
M3平ワッシャ 3枚



モーターにギヤを取り付けます。  
モーターのシャフトの D カット (平らな部分)とホーローセットを合わせます。  
以前のフィーダーとギヤを入れる向きが反対です。注意して下さい。  
まだ仮止めです。



モーターを取り付けして M3-10 トラスねじと平ワッシャーで仮止めした後、大きなギヤとモーターに付いた小さなギヤがしっかり噛みあう位置に小さなギヤを調整してホーローセットを固定します。



ギヤとギヤの間にコピー用紙一枚挟んで、ギヤを押し付けた状態でモーターを固定します。

仮止め状態だったモーター側の M3-12 トラスねじを固定します。

コピー用紙を抜いてフィーダーの出来上がりです。